

マツダエアバッグ車専用ボス922・923 取り付け説明

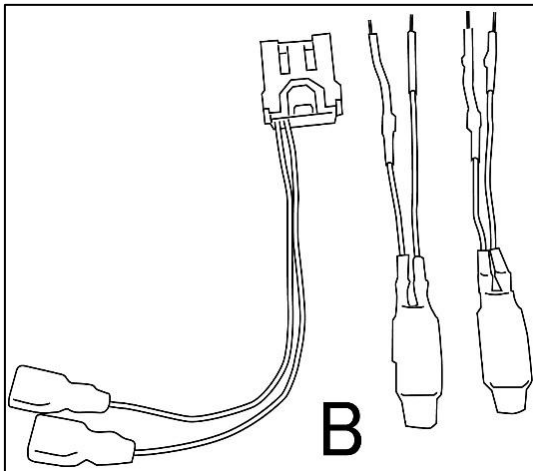
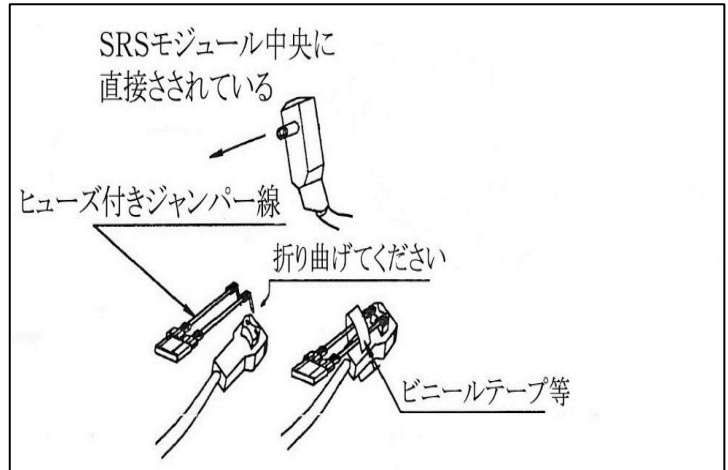
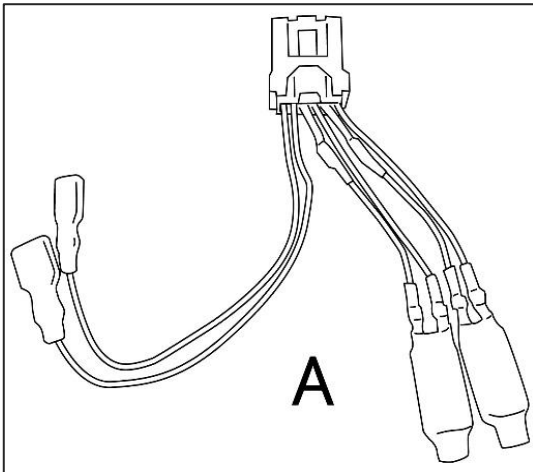
※必ず付属の説明用紙を全てお読みになってから作業を行ってください。

- ステアリングは重要保安部品に該当します、しかるべき知識、技術をお持ちの専門店で作業をご依頼ください。
- 作業時は保護メガネ、グローブ等の安全具を身に着け、怪我に充分注意し作業を行ってください。
- 事故等、強い衝撃時に本製品により運転者に損傷を及ぼす危険があります。充分ご注意ください。
- 誤った取り付けや取り扱いによる車両等の破損、又は事故等を起こされた場合、弊社では一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。
- 純正ステアリングの取り外しは、自動車メーカーの整備解説に基づいて行ってください。
- 作業は車両を平坦な場所に置き、ステアリングを直進状態にして、必ずバッテリー端子を外して10分以上経過してから作業を始めてください。
- スパイラルケーブルは純正ステアリングを外した状態から絶対に回転させないでください。センター位置をずらしてボスを装着するとスパイラルケーブルを破損する事があります。
- 本取説により正確に配線を行っても、車両個体差や取り付け状態等により警告灯が消灯しない場合があります。ご了承ください。又、警告灯が消灯した場合でもステアリングエアバッグ以外のエアバッグ作動は保証できません。(純正のエアバッグモジュールに戻しても警告灯が消灯しない場合はディーラーの診断機をかけないと消灯出来ない場合があります。)
- 純正ステアリング上にあるホーン以外の各種スイッチは使用できなくなります。
- 922を取り付けの場合は2P、923を取り付けの場合は3Pを参照してください。

※品番922と923では内容物が異なります。

9 2 2 取り付け説明

1. ホーンハーネスとエアバックの配線が一体式コネクタの場合は下図 A を使用します。別体式の場合は下図 B を使用します。B はエアバックに接続されていたコネクタに付属ヒューズ付ジャンパー線を差し込み（極性無し）抜けないようにテープ等で固定します。（下図参照）
※車が二段式エアバック搭載車の場合には2セットともこれを行います。
2. エアバック配線はボスの内部で遊ばないようにテープ類で固定してください。



※付属のジャンパー線は、接触不良が無いように確実に固定してください。また、折り曲げは1回までにしてください。それ以上繰り返しますと破断してしまいます。

差し込んだ後は、ビニールテープ等を用いて接触不良を防いでください。

MOMOタイプ

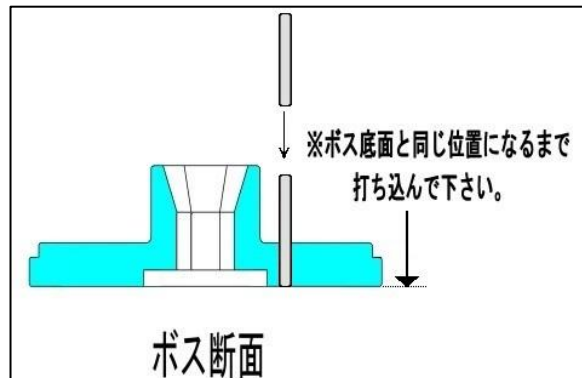
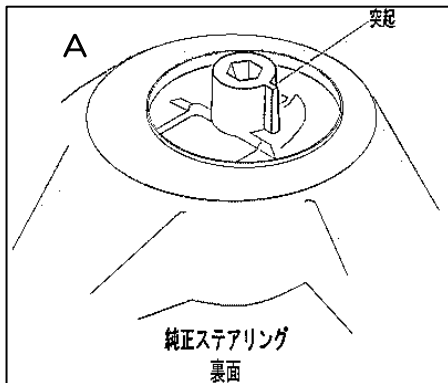
ナルディタイプ



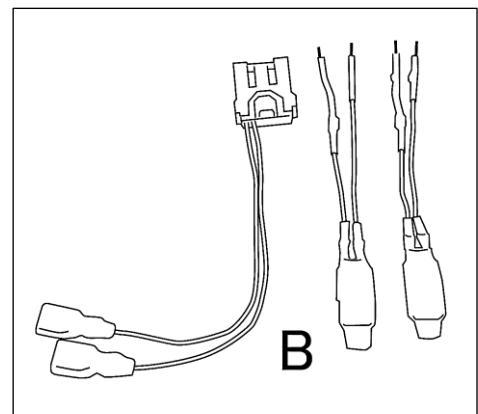
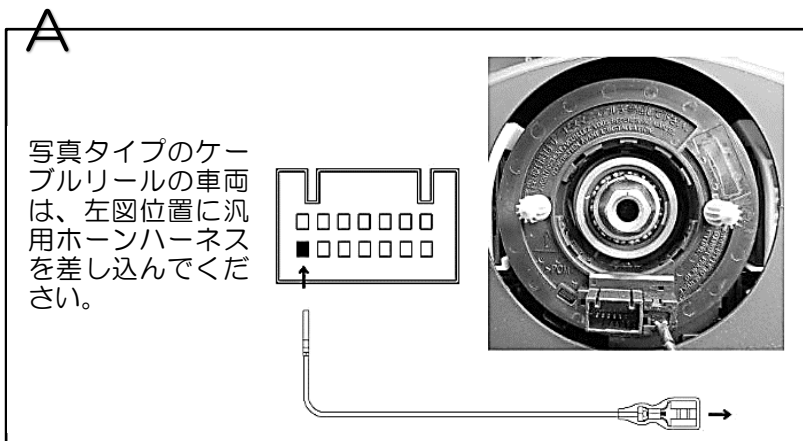
3. ボスカバーをかぶせ、カバー下部がコラムカバー等に当たってしまう場合、ハサミ、カッター等で干渉部分を切り取るなどして、干渉を避けてください。※カバーを切る際、ケガなどには十分注意してください。
4. 社外ステアリングをボスに仮止めし、センターボルトを規定トルクで締める。※トルクは $45\text{N}\cdot\text{m}$ ($4.5\text{kgf}\cdot\text{m}$)。
5. バッテリー端子をつけ、社外ステアリングをしっかりと固定します。上図を参考に装着するホーンボタンに配線を接続し、鳴ることが確認できれば作業は終了です。

9 2 3 取り付け説明

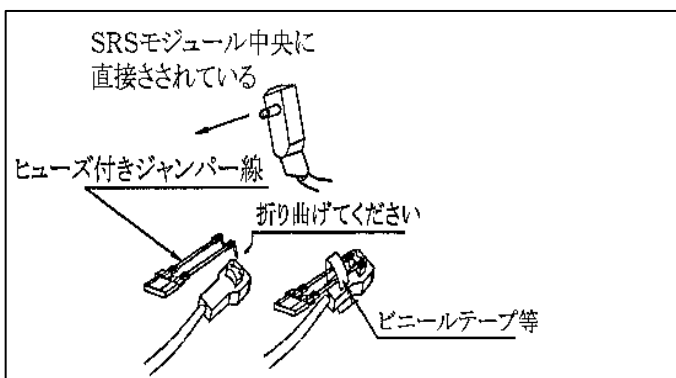
1. 純正ステアリング裏側に下図Aの突起がある場合には付属のウィンカーリターンピンをボス裏面から打ち込む作業が必要になります。
2. 付属スプリングピンの縦溝を内側に向けて下図Bを参考に、ボスを平らな場所に置いてハンマーで裏面の穴に打ち込んで下さい。ピンを打ち込む際、打ち込みすぎると車両側に届かなくなる可能性があります。下図を参考に作業をしてください。



3. 純正のホーンコンネクターと見比べて下図Aの場合は付属のオレンジ色の配線を使用し、16ピンコンネクター（8ピン2列）の場合はBの図の付属のコンネクターを使用してください。



4. エアバックに接続されていたコンネクターに付属のジャンパー線を差し込み、（極性無し）抜け無いようにコードに合わせてテープ等で固定します。
※二段式エアバックの場合は2セット行います。



※付属のジャンパー線は、接触不良が無いように確実に固定してください。また、折り曲げは1回までにしてください。それ以上繰り返しますと破断してしまいます。

差し込んだ後は、ビニールテープ等を用いて接触不良を防いでください。

5. ボスを差し込む際、トップマーク（丸い窪み）又は赤ペイントの位置を確認し、純正ハンドルの形状とボス形状を見比べて、合う方を優先してステアリングシャフトに差し込んでください。
6. ホーン配線とエアバックの配線は、ボス裏側からコード穴を通して引き込んでください。裏面に続きます。

7. ボスカバーをかぶせ、カバー下部がコラムカバー等に当たってしまう場合、ハサミ、カッター等で干渉部分を切り取るなどして、干渉を避けてください。※カバーを切る際、ケガなどには十分注意してください。
8. 社外ステアリングをボスに仮止めし、センターボルトを規定トルクで締め付けます。
※トルクは $45\text{N}\cdot\text{m}$ ($4.5\text{kgf}\cdot\text{m}$)。
9. バッテリー端子をつけ、社外ステアリングを規定トルク $676\text{N}\cdot\text{cm}$ で固定します。下図を参考に装着するホーンボタンに配線を接続し、鳴ることが確認できれば作業は終了です。



MOMO タイプ



ナルディタイプ

※許可無く複製、転載を禁ず

株式会社ワークスベル

株式会社ワークスベル 〒391-0011 長野県茅野市玉川 8507

TEL 0266-79-3761 FAX 0266-79-4706

Email : support@worksbell.co.jp

URL : <http://www.worksbell.co.jp>